経済経営研究科の理念・目的

経済学と経営学を融合した教育研究により、複雑な経済社会現象の本質を究明し、その研究成果を広く社会に発信することにより、社会の安定と人類の進歩に貢献する。

経済経営研究科の教育目標（人材育成方針）

経済経営研究科は、成蹊大学及び経済経営研究科の「理念・目的」を踏まえ以下の人材育成方針のもとに教育を行う。

＜大学共通＞

1 広い教養と深い（各学科、各専攻の）専門知識を備え、物事の本質を探究する思考力を養成する。

2 自己の人生観･価値観を確立し､自分の考えや意見を的確かつ明瞭に表現､発信する力を養成する。

3 多様な文化、環境、状況に対応し、他者と協働して課題の解決に取り組む力を養成する。

4 未知のものに積極的に挑み、生涯学び続けようとする自発性と積極性を養成する。

＜経済経営研究科＞

さらに本研究科における教育の根幹となる人材育成方針としての教育上の目的を、各課程、各専攻、各コースに以下のとおり掲げる。

博士前期課程　経済学専攻

●研究者養成コース

経済学の分野において、創造性豊かな優れた研究活動を行っていくための深い専門的知識の修得及び研究能力の涵養を目的とする。

●高度職業人養成コース

経済学の分野における深い専門的知識と経営学（会計学を含む。以下同じ。）の分野に関する基礎的理解に基づいて、現実社会における課題を発見し、他者と協働して課題解決に取り組んでいくことができるような洗練された職業人の育成を目的とする。

博士前期課程　経営学専攻

●高度職業人養成コース

経営学の分野における深い専門的知識と経済学の分野に関する基礎的理解に基づいて、現実社会における課題を発見し、他者と協働して課題解決に取り組んでいくことができるような洗練された職業人の育成を目的とする。

博士後期課程　経済学専攻

経済学の分野において、創造性豊かな優れた研究･開発能力を持つ研究者等を養成することを目的とする。

博士後期課程　経営学専攻

経営学の分野において、創造性豊かな優れた研究･開発能力を持つ研究者等を養成することを目的とする。